

初年次中心の「導入教育」

1年次の導入科目で、データと論証をふまえた主張型レポートの書き方や、グループでの討論の作法をしっかりと学ぶとともに、互いに啓発しあえる環境をつくれます。

主張型レポート・ライティングを学ぶ、
協調学習の環境をつくる



オリエンテーションキャンプでの先輩から1年生へのアドバイスの様子



導入教育での取り組み



チューター企画シンポジウムの開催「4年生から1年生へのメッセージ」



2～3年次中心の「基礎教育」

2～3年次生中心の副専攻科目の中に学科横断的なプロジェクト科目を設定し、専門教育の基礎となる、資料検索、統計学、異文化理解の実践力を集中的に鍛えます。

異文化理解・コミュニケーション力の育成
アイデア探求力の育成
統計学による論理構築力の育成



沖縄研修 琉球新報社を訪問



くま国際アカデミー訪問



日朝学生友好ネットワーク交流会

基礎教育での取り組み

4年次中心の「創造教育」

4年次での卒業研究を素材に、学生主体の出版物の編集、ホームページの作成、討論・報告会をおこない、卒業後にも通用するプレゼンテーション力を高めます。

卒業研究に関する発表会や討論会の開催
ジャーナルやパンフレットの編集と出版



北海道大学教育学部との研究交流会



韓国尚志大学の学生との交流の様子



創造教育での取り組み



琉球大学との討論会



日本政策学生会議での発表

各学科、学生の取り組み

社会学科



「北海道大学・社会学ゼミとの卒論交流」
尾崎ゼミでは北海道大学社会学部・平沢ゼミとの研究交流を実施。同じ社会学を専攻している他大学の学生と意見交換・議論をして、卒業論文をより良いものにするのがねらいです。論文テーマは、死刑制度や成年後見人制度といった固いものから、就職活動、恋愛についての話まで多岐に渡り、社会学の扱うテーマの広さ、アプローチ手法の多彩さを再認識できる刺激的な体験となりました。

社会福祉学科



「車椅子バスケットを体験しよう!」
京都UPSさんとLAKE SHIGAさんの協力のもと、学生委員会が「車椅子バスケットを体験しよう!」イベントを開催。チームの方からの講演を聞いた後、学生が車椅子に乗ってプレー体験したり、両チームのプレーを観戦したりして、会場は大いに盛り上がりました。参加者からは「想像以上のおもしろさだった!」などの感想が聞かれ、「福祉を身近に感じてほしい!」というねらいが伝わったと感じました。

メディア学科



「立教大学との報道メディア討論会」
浅野ゼミでは立教大学社会学部メディア社会学科・服部ゼミとの討論会を開催。各ゼミが提案した大学生の大麻所持被疑事件や力士暴行死事件など4つの事件について、報道の問題を検証し、討論を行いました。今回特に議論が白熱したのが、「大学の教育課程外で起こった事件について、大学名を報道すべきか否か」という点。人権やメディア報道に関して白熱した議論が交わされました。

産業関係学科



「3年生ゼミ対抗発表会」
恒例となった3年生によるゼミ対抗発表会が行われました。例年、順位は1、2年生の採点によって決められていますが、今年は方式を個人採点から少人数のグループ採点方式に変更。運営面での新たな取り組みも注目を集めました。内容面でも出演者による対話方式をとったり、ムービーを取り入れたりするなどプレゼンテーションに工夫を凝らすところが多く、見ごたえのある発表となりました。

教育文化学科



「青山学院大学・図書館情報学ゼミとの交流」
図書館情報学を取り上げる中村ゼミでは、青山学院大学の小田宏光教授と野末俊比古准教授のゼミと合同で卒業論文報告会を実施。ホームグラウンドではない場所で、同じテーマで研究に取り組む他大学の学生との活発な意見交換を体験して、学生は研究内容の見直しやプレゼン方法を検討。他者に自らの研究成果や意見を伝え、コミュニケーション能力を開発するいい機会になったようです。

卒論データベース

社会学部で提出された卒業論文の、タイトル・要約・キーワードを収録したデータベースをアップしています。ホームページ右側の「卒論データベース」をクリックしてみてください。各学科・各ゼミでどのような研究が行われているか、とてもよくわかります。また、各ゼミの教員による講評も順次入力しています。



<http://ssgp.doshisha.ac.jp>